

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもみらいサポート あくしす湊川			
○保護者評価実施期間	2025年11月15日		～	2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	17名
○従業者評価実施期間	2025年11月15日		～	2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・5領域を踏まえ、自立や就労に向け、生活していく上で必要なスキルを身に着けることができるプログラムを立案し実施している。	・アセスメントを取り、日常生活、社会人になる時に困ることが無いようにご本人の状況を踏まえてプログラムを行っています。	・保護者様・学校・就労先への交流を増やし、各方面のニーズを聞いた上でプログラム内容に反映させていきます。
2	・ご本人、保護者との意思疎通を密に行い、個別の課題をご本人と相談して決めて将来を見据えた支援を実施している。	・その日のプログラム内容やご本人の様子を毎日お伝えしています。また、Instagramを通して毎日の療育の様子を発信しています。	・継続して行い、保護者様に安心していただき、お子様ご本人にとっての居場所づくりが出来るよう努めていきます。
3	・お子様主体で決定する機会を設けている。	・おでかけに行く場所やどのような活動時間にするのか、調理実習するメニューを何にするのかなど、お子様たちが相手を思いやりながらも自分の意見を伝え1つの意見にまとめる機会を設けています。	・自分も相手も大切にしながら意見交換ができるよう、言葉の表出方法などのプログラムを充実させていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方と落ち着いて相談、面談ができる時間が少ない。	・事業所側から積極的なアナウンスが出来ていませんでした。 ・次年度は定期的に面談機会を設定しお子様とご家族のためになる支援をしていきたいと思ひます。	・計画を立て、定期的な面談を行えるよう準備をしていきます。
2	・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のことと活動する機会の提供。	・事業所内でのプログラムに注力しており、現状としては放課後児童クラブや児童館との交流は行っていません。また、交流会など直接的な交流はお子様の特性などを考えると負担になる可能性も高いので、実施の検討はできていません。	・買い物実習や調理実習、カフェの開催・おでかけの実施など、地域の中で活動できるプログラムを通して地域のお子様と交流できる機会を設けられるよう工夫していきくと共に職業体験などを通して地域企業との交流が図れるよう計画していきます。
3	・騒音の関係により、事業所内での行動が制限されています。	・建物の構造上、室内で運動することが困難です。	・定期的に体を動かす機会を外で作るよう今後も努めていきます。